

主要諸元

	タイプ	EX・BLACK STYLE	EX	LX
駆動方式			FF	
車名・型式			ホンダ・6AA-ZE4☆	
トランスミッション			電気式無段変速機	
寸法・重量・乗車定員				
全長(m)		4,675		
全幅(m)		1,820		
全高(m)		1,410		
ホイールベース(m)		2,700		
トレッド(m) 前/後		1,645/1,565		
最低地上高(m)		0.130		
車両重量(kg)		1,390		1,370
乗車定員(名)		5		
客室内寸法(m)	長さ/幅/高さ	1,925/1,535/1,160		
原動機	原動機型式	LEB-H4		
	エンジン型式	LEB		
	エンジン種類・シリンダー数及び配置	水冷直列4気筒横置		
	弁機構	DOHC チェーン駆動 吸気2 排気2		
	総排気量(L)	1,496		
	内径×行程(mm)	73.0×89.4		
	圧縮比	13.5		
	燃料供給装置形式	電子制御燃料噴射式(ホンダPGM-FI)		
	使用燃料種類	無鉛レギュラーガソリン		
	燃料タンク容量(L)	40		
電動機(モーター)	電動機型式	H4		
	電動機種類	交流同期電動機		
性能	エンジン	最高出力(kW[PS]/rpm)	80[109]/6,000	
		最大トルク(N·m[kgf·m]/rpm)	134[13.7]/5,000	
	電動機(モーター)	最高出力(kW[PS]/rpm)	96[131]/4,000~8,000	
		最大トルク(N·m[kgf·m]/rpm)	267[27.2]/0~3,000	
	燃料消費率(国土交通省審査値) JC08 km/L	31.4		34.2
	燃料消費率(国土交通省審査値) WLTC km/L	25.6		28.4
	市街地モード(WLTC-L) km/L	22.8		25.8
	郊外モード(WLTC-M) km/L	27.1		29.7
	高速道路モード(WLTC-H) km/L	26.2		28.8
	主要燃費向上対策	ハイブリッドシステム、アトキンソンサイクル、アイドリングストップ装置、可変バルブタイミング、電動パワーステアリング		
	最小回転半径(m)	5.3		
動力用主電池	種類/個数	リチウムイオン電池/60		
動力伝達・走行装置	減速比	第一:2.454(電動機駆動) 0.805(内燃機関駆動) 第二:3.421		
	ステアリング装置形式	ラック・ピニオン式(電動パワーステアリング仕様)		
	タイヤ(前・後)	215/50R17 91V		215/55R16 93V
	主ブレーキの種類・形式	前	油圧式ベンチレーテッドディスク	
		後	油圧式ディスク	
	サスペンション方式	前	マクファーソン式	
		後	マルチリンク式	
	スタビライザー形式	前	トーションバー式	
		後	トーションバー式	

■燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。

■WLTCモード:市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード:信号や渋滞等の影響をあまり受けにくい走行を想定。郊外モード:信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード:高速道路等での走行を想定。

☆印の車両は、自動車取得税、自動車重量税、自動車税の軽減措置が受けられます。(取得税は2019年3月31日まで、重量税は2019年4月30日までの新車登録が対象。自動車税は2019年3月31日までの新車登録が対象となり、新車登録の翌年分から軽減措置が受けられます。)

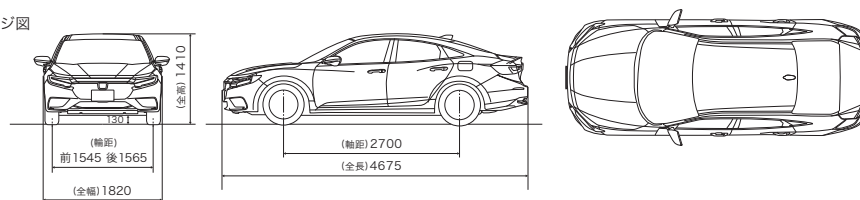
■主要諸元は道路運送車両法による型式指定申請書数値。■INSIGHT、アレルフリー、エコアシスト、Honda SENSING、i-MMD、LKAS、PGM-FI、プライムスームズ、VSA、VTECは本田技研工業株式会社の商標です。

■Bluetooth®は米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。■Apple CarPlay、iPhoneは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。■VICSは(財)道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。■ブラズマクラスターはシャープ株式会社の商標です。■ウルトラエード®は東レ株式会社の登録商標です。■製造事業者:本田技研工業株式会社

寸法イメージ図

単位:mm

LX



環境仕様

基礎情報	6AA-ZE4			
	型式	LEB-H4		
原動機	総排気量(L)	1,496		
駆動方式	駆動方式	FF		
駆動装置	変速機			
環境性能情報	排出ガス	燃費(km/L)	34.2	31.4
		CO ₂ 排出量(g/km)	67.9	73.9
		燃費からの換算値		
		参考	平成32年度燃費基準+50%達成車	
	環境負荷削減	燃費(km/L)*2	28.4	25.6
		市街地モード(WLTC-L)	25.8	22.8
		郊外モード(WLTC-M)	29.7	27.1
		高速道路モード(WLTC-H)	28.8	26.2
		CO ₂ 排出量(g/km)	81.7	90.7
		燃費からの換算値		
排出ガス	適合規制/認定レベル	平成30年排出ガス基準75%低減 WLTCモード		
	試験モード	WLTCモード		
環境性能情報	排出ガス	認定基準値(単位:g/km)	CO	1.15
			NMHC	0.025
		NOx	0.013	
	適合騒音規制レベル	参考	九都県市指定低公害車の基準に適合 平成28年騒音規制 規制値:加速走行72dB(A)	
環境負荷削減	エアコン冷媒	種類/GWP値*3	HFC-134a/1430*4	
		使用量	430g	
環境負荷削減	車室内VOC		自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下)	
			自工会2006年目標達成(1996年使用量*5の1/10)	
環境負荷削減	鉛		自工会目標達成(2005年1月以降使用禁止*6)	
	水銀		自工会目標達成(2008年1月以降使用禁止)	
	六価クロム		自工会目標達成(2008年1月以降使用禁止)	
環境負荷削減	カドミウム		自工会目標達成(2007年1月以降使用禁止)	
	樹脂、ゴム部品への材料表示		樹脂、ゴム部品に可能な限り全て	
環境への取組み	リサイクル	リサイクルし易い材料*7を 使用した部品	アンダーコート、バンパーフェースなどの内外装部品	
		再生材を使用している部品	バッテリーボックス	
環境への取組み	リサイクル可能率		車全体で95%以上*8	
	リサイクル可能率		グリーン購入法適合状況	
その他			グリーン購入法適合車	

*1 燃料消費率は定められた試験条件での値です。使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。*2 WLTCモード:市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード:信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード:信号や渋滞等の影響をあまり受けにくい走行を想定。高速道路モード:高速道路等での走行を想定。*3 GWP: Global Warming Potential (地球温暖化係数)*4 フロン法において、カ-エアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められています。*5 1996年乗用車の業界平均使用量は1850g(バッテリーを除く)。*6 交通安全上必須な部品の極微量使用を除く。*7 ポリプロピレン、ポリエチレンなどの熱可塑性プラスチック。*8 「新車車のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン(1998年 自工会)」に基づき算出。*9 この環境仕様書は2018年12月現在のものです。